

令和4年度  
事業実績報告書

社会福祉法人 嘉手納町社会福祉協議会

# 目次

## I. 法人運営部門

1. 会務の運営並びに連絡調整……………2
  - (1) 理事会
  - (2) 評議員会
  - (3) 法人監事監査
  - (4) 町補助金交付団体監査
  - (5) 県指導監査
2. 役職員研修……………3
  - (1) 人材育成事業
3. 会員制度の強化と自主財源の確保……………3
  - (1) 社協会費実績
  - (2) 寄付金実績
4. 総合福祉センターの運営管理……………4
5. 相談援助実習生の受入れ……………4

## II. 地域福祉活動推進部門

1. 福祉でまちづくり機能
  - (1) 各種社会福祉関係諸団体支援事業……………4
  - (2) 福祉団体合同新年会
  - (3) 福祉団体連絡会議
  - (4) 生きがいデイサービス交流会
  - (5) 心配ごと相談所の運営
  - (6) 広報啓発活動……………5
  - (7) 赤い羽根共同募金運動
  - (8) 歳末たすけあい募金運動
  - (9) 福祉バスの運行……………6
  - (10) コミュニティソーシャルワーク(CSW)事業……………6
    - ① 個別支援
    - ② 地域支援(小地域福祉活動)
    - ③ かでな安心キット事業(緊急医療情報キット)
    - ④ 地域見守り協力活動
    - ⑤ 朝ごはん応援隊
    - ⑥ あさかふえ
    - ⑦ 各種会議への参加
  - (11) 障害者地域生活支援事業(町受託事業)……………9
    - ① 理解促進研修・啓発事業
    - ② 自発的活動支援事業
    - ③ 成年後見制度法人後見支援事業
    - ④ スポーツ・レクリエーション教室開催等(社会参加支援)

⑤ 文化芸術活動振興（社会参加支援）	
⑥ 声の広報等発行事業	
(12) 生活支援体制整備事業（町受託事業）	11
① 生活支援体制整備研究会の開催	
② ワーキンググループの開催	
③ ちょこっとお助けゆいまーる事業（有償の支え合い活動）への取り組み	
④ つどい・交流の場×移動販売	
⑤ 研究会しんぶんの発行	
⑥ ちょいまーる通信の発行	
(13) 食料支援事業	12
(14) 新型コロナの対策支援事業	12
① 生活困窮者等支援事業	
2. 福祉活動推進事業	
(1) 児童・青少年福祉事業	12
① 第28回比謝川鯉のぼりフェスタ	
② 制服リサイクル事業	
(2) 老人福祉事業	12
① ふれあい訪問事業	
② 嘉手納町社会福祉協議会いきいきサロン（社協サロン）	
(3) 母子・父子福祉事業	13
① 嘉手納町母子寡婦福祉会・NPO運営支援	
3. 社会福祉施設（福祉サービス事業者）支援協働機能	
(1) 嘉手納町地域活動支援センターていんがーらの運営（受託事業）	13
4. ボランティアセンター（ボランティア活動支援）	
(1) 福祉教育の推進	14
① 福祉教育協力校	
② 福祉教育推進助成事業	
③ いもっ子サマースクール（読谷村社協共催）	
(2) 学校・一般団体・企業への体験学習・研修への支援	14
(3) ボランティア支援事業	14
① 声のお便りサービス（地域生活支援事業参照）	
② ボランティア広報誌	
③ ボランティア保険への加入促進	
④ 一人暮らし高齢者宅清掃活動	
(4) ボランティア団体助成事業	15
(5) ボランティア活動拠点整備	15
III. 福祉サービス利用支援部門	
1. 地域福祉権利擁護事業（日常生活自立支援事業）	15
2. 生活福祉資金貸付事業	15

#### IV. 在宅福祉サービス部門

1. 高齢者等食の自立支援事業（配食サービス・町受託事業） ..... 16
2. 地域介護予防活動支援事業（ミニデイサービス・町受託事業） ..... 17
3. 介護用品貸与事業 ..... 17
4. 放課後等デイサービス事業所の運営（わくわくクラブあすなろ） ..... 17
5. 児童発達支援事業所の運営（わくわくクラブあすなろ） ..... 17

## 令和4年度 事業実績報告書

新型コロナの影響が長期化する中で、本会が実施する様々な地域福祉活動等の中で、小地域福祉活動が3年に渡るコロナ禍での影響を受けながらも組織の活動が継続できるよう地域との定期的な話し合いの場を持ち、活動の在り方や、地域の状況をなどの情報交換を行い活動再開に向けて取り組みました。

新たな取り組みとして、子育て世代の保護者を対象としたゆんたくカフェを開催し、参加者同士の情報交換や社協と参加者がつながる機会をつくり、また、登校前の児童生徒や地域の方がふれあう「あさかふえマルシェ」なども開催しました。

地域の高齢者を支援する、有償の支えあい活動は令和4年7月本実施となり、本年度においては利用者の増加が見込まれます。

新型コロナ支援対策事業として、自宅療養する世帯等への支援物資事業や特例貸付事業の相談・申し込み受付事業を通して、多くの町民を支援できたことは、社協を知り、また、つながるきっかけになったと思われます。

本会の事業実施にあたり、多くの町民の皆さまのご理解と、嘉手納町をはじめ、自治会、民生委員・児童委員協議会及び関係機関・団体の皆さまに、多大なご支援・ご協力をいただきましたことに深く感謝申し上げます。

以下、令和4年度の事業を報告します。

# I. 法人運営部門

## 1. 会務の運営並びに連絡調整

### (1) 理事会【全3回】

回数 日時	出席	議案(報告)	会場
第1回 R4 6/13 14:00	理事7 (欠2) 監事2	<ul style="list-style-type: none"> <li>・令和3年度事業実績報告について</li> <li>・令和3年度資金収支決算について 監査報告</li> <li>・理事候補者について</li> <li>・令和4年度定時評議員会の開催日時、場所及び、議事に付すべき事項について(報告)</li> <li>・社協会長の業務執行状況について</li> </ul>	嘉手納町 総合福祉センター 3階研修室
第2回 R4 9/6 17:00	理事9 (欠1) 監事2	<ul style="list-style-type: none"> <li>・令和4年度資金収支(第1次)補正予算(案)について</li> <li>・令和4年度第2回評議員会の開催について</li> <li>・(報告)社協会長の職務の執行状況について</li> </ul>	嘉手納町 総合福祉センター 3階研修室
第3回 R5 3/20 10:00	理事7 (欠3) 監事2	<ul style="list-style-type: none"> <li>・令和4年度資金収支(第2次)補正予算(案)について</li> <li>・令和5年度事業計画(案)について</li> <li>・令和5年度資金収支予算(案)について</li> <li>・令和4年度第3回評議員会の開催について</li> <li>・(報告)社協会長の職務の執行状況について</li> </ul>	嘉手納町 総合福祉センター 3階研修室

### (2) 評議員会【全3回】

日時 回数	出席者 (出席/総数)	議案(報告)	会場
定時 評議員会 R4 6/29 14:00	18/21	<ul style="list-style-type: none"> <li>・令和3年度事業実績報告について</li> <li>・令和3年度資金収支決算について 監査報告</li> <li>・理事候補者について</li> </ul>	嘉手納町 総合福祉センター 4階大集会室
第2回 (書面による議決)	21/21	<ul style="list-style-type: none"> <li>・令和4年度資金収支補正予算(第1次)(案)について</li> </ul>	-
第3回 R5 3/29 15:00	13/21	<ul style="list-style-type: none"> <li>・令和4年度資金収支(第2次)補正予算(案)について</li> <li>・令和5年度事業計画(案)について</li> <li>・令和5年度資金収支予算(案)について</li> </ul>	嘉手納町 総合福祉センター 3階研修室

### (3) 法人監事監査

日時	内容	会場
5/31 9:30	令和3年度決算監査	嘉手納町総合福祉センター4階中会議室

### (4) 町補助金交付団体監査

※令和4年度実施無し

(5) 県指導監査（沖縄県福祉政策課）

日時	内容	会場
6/2 9:30	社会福祉法人指導監査	嘉手納町総合福祉センター4階中会議室

2. 役職員研修

役職員の資質向上を図る為、職員研修の実施、各種研修会への派遣、また中部地区社会福祉協議会連絡協議会の各部会や中部地区老人クラブ担当者研究会等へ職員を派遣し、職員の資質向上を図った。

(1) 人材育成事業

期日	テーマ	講師
5/25～6/1	第1回個別面談	幸喜穂乃氏 (合同会社 Happy Joy)
10/22	第1回全体研修 魅力あるイベントをチームでつくる	
11/24～12/5	第2回個別面談	
年4回	予防的面談（必要に応じた職員へ実施）	
年2回	コンサルティング（事務局等、両係長へ実施）	

※予定していた全体研修（1回）はコロナの影響により中止となる。（R5年度へ振替）

3. 会員制度の強化と自主財源の確保

社協の自主財源確保のため、戸別会員・賛助会員・特別会員を募集し、町民の協力により次の実績を上げた。

(1) 社協会費実績

令和4年度実績 1,690,500円（前年比 △108,000円）

	令和4年度	令和3年度	令和2年度	令和元年度
戸別会員	1,328,500円 (2,657件)	1,461,500円 (2,923件)	1,527,500円 (3,055件)	1,451,000円 (2,902件)
賛助会員	72,000円 (46件・72口)	52,000円 (47件・52口)	69,000円 (50件・69口)	94,000円 (65件・94口)
特別会員	290,000円 (35件・58口)	285,000円 (34件・57口)	295,000円 (37件・59口)	320,000円 (40件・64口)
計	1,690,500円	1,891,500円	1,865,000円	1,960,500円

・戸別会費内訳

	東区	中央区	北区	南区	西区	西浜区	合計
世帯数(件)	675	323	292	308	382	677	2,657
前年比(件)	△56	△61	△34	△9	△38	△68	△266
金額(円)	337,500	161,500	146,000	154,000	191,000	338,500	1,328,500
前年比(円)	△28,000	△30,500	△17,000	△45,000	△19,000	△34,000	△133,000

(2) 寄付金実績

	令和4年度	令和3年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度
件数	26	27	31	28	36
金額(円)	7,714,900	5,592,229	4,943,000	6,018,848	7,081,425

#### 4. 総合福祉センターの運営管理

町内福祉団体・町各種検診・事業を中心に、町民の福祉向上と健康増進を推進するため、効果的・効率的な運営を実施した。

・総合福祉センターの利用状況

	令和4年度	令和3年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度
利用回数(回)	1,099	757	963	1,575	1,431
利用者数(名)	15,766	11,551	10,325	22,386	19,063

#### 5. 相談援助実習生の受入れ

地域社会が求める社会福祉士の人材育成へと貢献すべく、公的責任も帯びている社会福祉協議会として県内学校の180時間以上の実習受入を行う。(琉球大学は80時間)

実習生 (計4名)	琉球リハビリテーション学院	1名
	沖縄統合医療学院	1名
	九州保健福祉大学	1名
	琉球大学	1名

## II. 地域福祉活動推進部門

住民参加や協働による福祉活動の支援など、地域福祉推進の為に体制強化と事業の推進を図った。

### 1. 福祉でまちづくり機能

#### (1) 各種社会福祉関係諸団体支援事業

福祉団体への助成や活動への支援を行い、団体の基盤強化と自主運営を支援した。

(共同募金の配分金より一部助成)

福祉団体名	助成額	備考
嘉手納町老人クラブ連合会	280,000円	
嘉手納町障がい福祉協会	0円	活動休会中
嘉手納町精神療養者家族会	100,000円	
嘉手納町民生委員児童委員協議会	300,000円	
NPO法人 嘉手納町母子寡婦福祉会	80,000円	
合計	760,000円	

#### (2) 福祉団体合同新年会「初春の集い」

※コロナウイルス感染症拡大防止による活動自粛のため実施なし。

#### (3) 福祉団体連絡会議

※コロナウイルス感染症拡大防止による活動自粛のため実施なし。

#### (4) 生きがいデイサービス交流会

※コロナウイルス感染症拡大防止による活動自粛のため実施なし。

#### (5) 心配ごと相談所の運営

第2・4金曜日の弁護士相談を継続し、町民の日常生活上の法律に関わる相談に対応し、適切な助言や援助を行い町民の福祉の向上を図った。

開設日：第2・4金曜日 午後2時～午後4時15分(完全予約制)

場所：総合福祉センター3階会議室

相談員：弁護士4名

開設日：22日

相談件数：41件



## 相談内容

相談内容	件数	相談内容	件数	相談内容	件数
生 計	1	職業・生業	0	住 宅	4
家 族	5	離 婚	4	医 療	0
人権・法律	5	財 産	21	年 金	0
苦 情	0	精神・衛生	0	心身障害者(児)・福祉	0
事 故	1	健康・衛生	0	その他	0
				合計	41

## (6) 広報啓発活動

社協広報誌を年4回発行するとともに、町広報等への掲載を通して町民へ社協活動のPRを図った。またインターネットを活用し、新たな町民へのPR方法を構築した。

① 社協だよりの発行（4月・7月・10月・2月：年4回）

② 町広報紙の紙面活用

③ 嘉手納町社協 web サイトの運営【<https://www.kadena-shako.com/>】

	令和4年度	令和3年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度
訪問者数	7,063	7,967	6,164	7,998	6,981
ページビュー	14,077	15,922	13,146	35,060	27,894

④ Facebook ページの運営【<https://www.facebook.com/kadena.shakyo/>】

⑤ LINE 公式アカウントの運営

⑥ 2023 しあわせ広がるフォトカレンダー事業

町内の福祉活動や社協の取り組みを地域の方々へ知ってもらうためにカレンダーを作成。

・作成部数：500部

## (7) 赤い羽根共同募金運動

社協の福祉事業の財源となる赤い羽根共同募金運動の募金活動を自治会、民生委員の協力のもと実施した。

期 間：令和4年10月1日～令和5年3月31日

募金内容：戸別募金、職域募金、法人募金、個人大口募金、学校募金

### 共同募金実績額

	令和4年度	令和3年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度
募金実績額	2,724,291円	2,965,189円	3,107,867円	3,521,709円	3,323,691円
達成率	76.4%	83.2%	86.9%	97.0%	91.2%

### 募金内訳（2,811件・2,724,291円）

募金別	法人募金	職域募金	戸別募金	個人募金	学校募金	その他	合計
件数 (前年度)	44 (45)	45 (41)	2,649 (2,902)	49 (47)	4 (2)	20 (20)	2,811 (3,057)
金額 (前年度)	620,000 (718,000)	383,607 (398,890)	1,324,500 (1,451,000)	256,942 (330,936)	104,629 (58,324)	34,613 (32,276)	2,724,291 (2,965,189)

## (8) 歳末たすけあい募金運動

歳末において募金活動を実施し、困窮世帯への義援金の支給と一人暮らし高齢者への物品の支給を通して、歳末におけるたすけあい運動を地域の協力のもと実施した。

また、歳末たすけあい募金の財源を活用し、生活困窮者への支援のための食料品の購入およびコロナウイルス感染症拡大防止による学校休校で、欠食となっている児童への食事を届けるための食材を購入した。

期 間：令和4年12月1日～令和4年12月31日

募金内容：戸別募金、職域募金

歳末たすけあい募金実績額

	令和4年度	令和3年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度
募金実績額	890,432円	839,211円	884,757円	891,875円	867,211円
達成率	98.9%	83.9%	88.5%	99.1%	96.4%

募金内訳 (2,703件・890,432円)

募金別	戸別募金	職域募金	個人募金	その他	合計
件数 (前年度)	2,657 (2,928)	39 (34)	5 (-)	2 (-)	2,703 (2,928)
金額 (前年度)	531,400 (585,600)	253,578 (253,611)	65,454 (-)	40,000 (-)	890,432 (839,211)

配分総額：1,393,094円

事業名	金額(円)	備考
歳末たすけあい物品支給	101,369	74件
法外援護事業	30,000	1世帯
新型コロナウイルス陽性者自宅療養者物資支援	1,200,266	542世帯・2004人
啓発用品物品購入	61,459	
計	1,393,094	

(9) 福祉バスの運行

町内各種福祉団体等を中心に、福祉バスの運行を実施し活動支援を行った。

利用内訳 ※ ( ) は前年度実績

利用団体	利用回数	人数
福祉団体	51 (11)	734 (119)
ボランティア団体	0 (0)	0 (0)
行政関係・行政委員会	17 (12)	760 (379)
議会関係	0 (0)	0 (0)
学校教育関係	23 (15)	678 (305)
町内各種団体	10 (7)	186 (112)
産業関係団体	3 (1)	59 (15)
その他公的団体	26 (7)	615 (102)
合計	130 (53)	3,032 (1,032)

(10) コミュニティソーシャルワーク(CSW)事業

嘉手納町地域福祉推進計画に位置付けられているコミュニティソーシャルワーク事業において、コミュニティソーシャルワーカーを担当圏域ごとに2名配置。個別支援の充実、小地域福祉活動事業の展開、生活支援体制整備事業および障害者地域生活支援事業との連携を目指して実施した。

① 個別支援

地域や関係機関、他の事業担当者との連携を継続的に行い、個別支援にあたる。特に今年度は、住居探しから転居先での生活基盤を整えるなど、長期的に継続して関わるケースが増えた。

年度	令和4年度	令和3年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度
相談件数 (実人数)	1,110件 (127名)	1,149件 (-)	1,282件 (-)	1,256件 (-)	1,178件 (-)

ケース会議：開催2回・参加4回

② 地域支援（小地域福祉活動）

今年度もそれぞれの組織へ継続的支援を実施する。活動が思うようにできない中でも、話し合いを重ね、役員を中心に活動の在り方について検討を重ねる。

名称	支援開始月	内容
南区地域見守り隊 (活動者 15 名)	H25 年 12 月	コロナ禍で活動が休止していた状況があったが、今年度9月から活動を再スタートし、約1年ぶりに隊員同士で顔をあわせることができた。また、これまでの活動を振り返りながら、次年度新たに取組みたいことについて話合った。
北区見守り隊	H27 年 11 月	活動休止中
東区見守り隊 (活動者 20 名)	H28 年 3 月	第2弾「手紙でつながろう作戦」を、自治会長を中心として個々の隊員がより主体的に実施。また東区見守り隊（組織）として共通の目的に向かって、みんなで一緒に活動を行っていく意識（主体性）が以前同様に感じられる。
西区ささえ愛たい (活動者 8 名)	R1 年 7 月	コロナ禍でも定期的に継続して話し合いの場をもち、気になる方の情報交換を行う。また、気になる方の近況の聞き取りと、気になる方の隣近所へ西区ささえ愛たいについて知ってもらうことを目的に、チラシ配布訪問活動を行った。
中央区気になる会 (活動者 6 名)	R3 年 5 月	月に一回の話し合いの場を継続することで、地域をよく知っている方と、新たに民生委員となった方とが、普段感じていることを自由に話せる場になっており、地域の状況把握につながる。今年度は、障害福祉係との情報交換会や仲間を増やすことに向けて検討する。
西浜区つなげる会 (自治会長・民生委員の話し合い)	R3 年 5 月	令和3年5月より「民生委員が行っている活動」と「自治会での活動」とをお互いに知り合う場として始まり、現在は気になる方の情報交換を行う場となっている。

◇小地域福祉活動フォーラム

本会初の試みとして、保護者向けのゆんたくカフェ（座談会）と子ども向けのワークショップを同時開催する。結果として、これまで本会の事業に参加したことのない方々と出会い、普段の暮らしの様子や困りごとをお聞きできたほか、参加者がつながるきっかけとなった。さらに、イベント運営のボランティアとして、町内の中高生に加えて、社会人にも参加していただき、実際の活動を通して本会の取り組みを知っていただくことが出来た。

日程	ゆんたくカフェ テーマ	子どもワークショップ	参加者数
第1弾 R4.9.11 (日)	子育てしやすいまちって どんなまち？  進行役：幸喜 穂乃氏 (合同会社 Happy Joy)	ゾンビ脱出ゲーム ミニチュアキーホルダー作り	保護者 9 名 子ども 21 名 (8 世帯) ボランティア 4 名
第2弾 ※中止 R4.12.24 (土)		ペットボトル クリスマスツリー製作	-
第2弾 R5.2.25 (土)		ゾンビ脱出ゲーム	保護者 16 名 子ども 31 名 (15 世帯) ボランティア 12 名

③ かでな安心キット事業（緊急医療情報キット）

他事業（食の自立支援事業等）の担当とともに訪問し、事業を案内することで新規の申請や設置につながった。

年度	令和4年度	令和3年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度
申請	9	5	25	30	47
設置	9	10	17	48	25
中止	21	19	26	34	32
設置件数	263	276	284	291	276

※設置件数については、設置前に施設等入所や逝去される方もいるため、必ずしも（今年度設置件数＝前年度設置件数＋今年度の設置者数－今年度中止者数）とはならない。

#### ④ 地域見守り協力活動

締結先事業所からの「郵便物が溜まっている」という情報をもとに、安否確認を行う事例がある。今後も住民が安心して暮らせる地域づくりを目指して、より多くの事業者と地域見守り協力活動に関する協定の締結を行い、町内における見守り活動を推進していく。令和4年度は新たに1件の事業所と締結した。

<令和4年度協定締結先>  
有限会社 德里住建

#### 【締結状況（14事業所と協定締結）】

##### ○協力活動締結先事業所一覧○

- |                      |                   |
|----------------------|-------------------|
| 1. 日本郵便株式会社沖縄郵便局     | 2. 琉球新報屋良販売店      |
| 3. 琉球新報嘉手納南販売店       | 4. 琉球新報水釜販売店      |
| 5. 沖縄タイムス嘉手納屋良販売店    | 6. 沖縄タイムス水釜第一販売店  |
| 7. 沖縄タイムス水釜第二販売店     | 8. 嘉手納町上下水道課      |
| 9. 株式会社比謝川タクシー       | 10. 比謝川ガス株式会社     |
| 11. 沖縄ヤクルト株式会社読谷センター | 12. 生活協同組合コープおきなわ |
| 13. 社会福祉法人 幸仁会 比謝川の里 | 14. 有限会社 德里住建     |

#### ⑤ 朝ごはん応援隊

昨年度に引き続き、不登校や登校渋りの子ども達を対象とした自宅と学校以外の居場所に加えて、同世代や家族以外の大人と関わる機会になることを目的に、町教育委員会配置の子ども支援コーディネーターと協働し事業を行う。

地域住民の畑での収穫体験、地域店舗でのたこやき作り体験を行うほか、ハロウィンの時期には子どもたちがデコレーションしたカップケーキを中学校へ販売に行くなど、地域や学校の協力・理解を得ながら事業を実施した。

実施日時	毎週火曜日 ※変更あり
実施回数	36回
参加人数	13名（延べ136名）
実施に向けた会議 および月のふり返り	13回

#### ⑥ あさかふえ

休日明けのちょっと憂鬱な月曜日の朝、子ども達や保護者、地域住民がホッとできたり、多世代が交流するひと時を過ごす場として、令和4年4月より事業をスタート。令和5年2月・3月には、町内飲食店とのコラボ企画として「あさかふえマルシェ」を実施した。

実施日時	毎週月曜日 7:00～9:00
実施場所	北区コミュニティセンター駐車場
対象	嘉手納町民
実施回数	あさかふえ 30回、あさかふえマルシェ 2回

⑦ 各種会議への参加

- ・災害時等要援護者支援事業に関する福祉課 社会福祉係との打ち合わせ（1回）
- ・嘉手納町障害者自立支援協議会 相談支援部会（10回）  
（地域移行・定着ワーキング（勉強会）1回、計画相談員とのワーキング（勉強会）2回）
- ・要保護児童対策地域協議会（児童虐待・養護部会2回、不登校・非行部会2回）

(11) 障害者地域生活支援事業（町受託事業）

障がい者がその有する能力及び適正に応じて、自立した日常生活又は社会生活を送るために必要なサービスや情報を提供し、障がい者の自立と社会参加を支援した。

① 理解促進研修・啓発事業

○障害者週間に伴うイベント（障害者週間パネル展）

期日	内容	場所
11/28 ～12/9	障害者地域生活支援事業の紹介パネルを作成し展示を行った。	嘉手納町役場 1階エントランスホール

○ペアレントトレーニング講座（全8回）

回数	期日	内容	参加者	講師	会場
第1回	10/5	プログラム全体のオリエンテーション	4名	岡崎綾子氏	嘉手納町 総合福祉センター 3階会議室
第2回	10/19	子どもの行動の観察と理解	4名		
第3回	11/2	子どもの行動への良い注目のしかたと3つの行動タイプ分け	4名		
第4回	11/16	前半ふりかえりと親子タイム	4名		
第5回	12/7	子どもが従いやすい指示の出し方	3名		
第6回	12/21	上手な注目のはずし（無視）の仕方（ほめるために注目を外す）	3名		
第7回	1/11	トークン表（めあて表）と限界設定	2名		
第8回	2/15	全体のふりかえり	3名		

○“聴覚障がい者から見える世界”と“使いたくなる手話”体験教室

	期日	内容	参加者	講師	会場
講義1	10/26	聴覚障がい者の生活 （当事者による講話）	4名	新垣聖子氏 通訳派遣2名	嘉手納高等学校 総合学科 2年次クラス
	10/27		8名		
講義2	11/9	手話による日常会話を学ぶ	4名	新垣聖子氏 聴講師2名	
	11/10		6名		
講義3	11/11	交流会	4名	町内当事者2名 手話サークル2名	
	11/19		6名		

② 自発的活動支援事業

・ゆんたく会の開催（計4回）

回数	期日	内容	参加者
第1回	5/30	カフェでゆんたく	4名
第2回	10/2	親子でバルーンを楽しもう	7家族 21名
第3回	12/28	盛花を作ろう	8名
第4回	1/24	ペアトレから子どもとの関りを学ぼう	4名+関係機関職員4名

③ 成年後見制度法人後見支援事業

・研修会（講師：鈴木穂人氏〔そらうみ法律事務所浦添事務所〕）

期日	内容	参加者	場所
3/30	『身元保証』と『死後事務』	町福祉課6名 社協6名	嘉手納町役場 地下展示室

④ スポーツ・レクリエーション教室開催等（社会参加支援）

○eスポーツをやってみよう！

回数	期日	内容	参加者	講師	会場
第1回	6/5	ゲームを介したコミュニケーションや、好きを伸ばしていく機会をつくるゲーム「ぷよぷよ」「太鼓の達人」などを体験	16名 (3家族)	手登根雄次氏 (琉球スポーツサポート)	嘉手納町 総合福祉センター 大集会室
第2回	7/10		9名 (2家族)		

○楽しくカラダを動かそう！レク

期日	内容	参加者	講師	会場
10/16	ミニゲームを取り入れた5つのプログラムで楽しくカラダを動かす	19名 (6家族)	手登根雄次氏 (琉球スポーツサポート)	嘉手納町 スポーツドーム

○リフレッシュフィットネス

期日	内容	参加者	講師	会場
1/29	誰でもできる簡単なフィットネスを音楽に合わせて行う	10名	小田川晴美氏 (H. SP. 株式会社)	嘉手納町 総合福祉センター 大集会室

⑤ 文化芸術活動振興（社会参加支援）

・アフリカの太鼓『ジャンベ』（計9回）

講師：gajako・masato（諸留華英・将人）

内容：町広報誌、その他

朗読ボランティア：リーディングサービスあいあい5名

郵送の方法：嘉手納郵便局の協力による無料郵送

○あいあいボランティアと対象者の交流会

期日	場所	参加者
3/7	メイプルカフェ（水釜）	対象者2名 ボランティア4名 社協職員2名

(12) 生活支援体制整備事業（町受託事業）

単身や夫婦世帯のみの高齢者世帯、認知症の高齢者が増加する中、医療、介護サービス提供のみならず、町が中心となって、生活支援サービスを担う多様な事業主体と連携しながら、多様な日常生活上の支援体制の充実・強化及び高齢者の社会参加の推進を一体的に図っていく。

① 生活支援体制整備研究会の開催（2回）

期日	内容	会場
4/20	・ちょこっとお助けゆいまーる事業について ・生活支援コーディネーターの活動について	嘉手納町総合福祉センター研修室
2/2	・ちょこっとお助けゆいまーる事業について ・スタンドアップ!パワーアップ!!講座について ・令和5年度について	嘉手納町総合福祉センター研修室

② ワーキンググループの開催（1回）

期日	内容	会場
7/14	・ちょこっとお助けゆいまーる事業の感染対策ガイドラインについて ・活動再開に向けての基準や条件について	嘉手納町総合福祉センター会議室

③ ちょこっとお助けゆいまーる事業（有償の支え合い活動）への取り組み

- ・お助け会員登録数：40名（男性16名、女性24名）
- ・相談件数：依頼66件【実施済19件、訪問調整中23件、他の方法で解決18件、対象外1件、問い合わせのみ5件】

その他10件（仕組みについての問い合わせ等）

延べ活動件数、活動人数（R4.7月より本実施）

活動内容	草むしり等	掃除	買い物	高所作業	合計
延べ件数	11	24	10	1	46
延べ人数	19	25	10	1	55

スタンドアップ!パワーアップ!!講座

（お助け会員及び支え合い活動に興味のある方の活動意欲、スキルアップを目的に開催）

期日	内容	講師	参加者	会場
2/10	第1部つながることで支え愛講座 第2部お掃除講座	第1部：田中将太氏 第2部：ダスキン美里店	17人	かでな未来館
2/18	第1部つながることで支え愛講座 第2部コミュニケーション講座	田中将太氏	14人	かでな未来館

④ つどい・交流の場×移動販売

新型コロナウイルス感染症の影響を受け、つどい・交流の場への取り組みを進めることは難しかった。中央区自治会のアイデアで月1回のお楽しみデイ企画や、嘉手納高校生による手作りの飾り物や野菜の販売が実現でき、異世代交流の場をつくることができた。

移動販売場所	実施日	備考
県営嘉手納高層住宅（北区）	毎週水曜 14:30～15:00	R5.3月終了
屋良町営住宅（東区）	毎週水曜 15:10～15:40	
なかゆくい広場（中央区コミュニティセンター）	毎週水曜 15:00～15:30	

⑤ 研究会しんぶんの発行（1月・3月）

⑥ ちょいまーる通信の発行（7月・1月・3月）

(13) 食料支援事業

生活困窮者への支援として社協から食料支援を行う。そのための食料寄付も社協が受付し、フードバンクセカンドハーベスト沖縄や嘉手納高校 PTA や個人などからも食料寄付があった。また、琉球銀行嘉手納支店には食料寄付の窓口として活動に協力いただいている。

	令和4年度	令和3年度	令和2年度	備考
食料支援	77回	56回	37回	1回につき10日分、再支給は1か月後を目安とする
食料寄付受付	30回	31回	10回	社協にて随時受付、食料支援を行う。

(14) 新型コロナの対策支援事業

① 支援物資セットお届け事業

新型コロナに感染し、自宅で療養する世帯を支援するために食料品等を提供し、在宅での生活を維持させ、感染拡大防止と早期の回復に繋げる事を目的に実施した。

対象者：新型コロナ感染症の陽性者で自宅で療養している方。

又は、同居家族等が新型コロナ感染症の陽性者で、濃厚接触者として自宅待機をしている方。

申込み：542件（内訳、陽性者：939名、家族数：2004名）

実施期間：令和4年4月1日～令和5年3月31日

配布物品：カップ麺、麺類、レトルト食品、缶詰、お米（5kg）、お菓子、マスク、  
トイレットペーパー、消毒液、水、他

予算：歳末たすけあい募金を活用

2. 福祉活動推進事業

(1) 児童・青少年福祉事業

① 第28回比謝川鯉のぼりフェスタ ※新型コロナ感拡大防止のため中止。

○こどもの日フォトコンテスト

鯉のぼりフェスタの代替事業として、フォトコンテストを実施し、子ども達の笑顔と元気を写真と通して発信し、児童福祉週間のPRとコロナの終息を願い開催した。

応募期間：4月18日（月）～5月20日（金）

応募総数：36件 ※大賞1点、優秀賞：3点、入賞6点

② 制服リサイクル事業

町内の小・中・高校の不要になった制服を寄贈していただき、必要としている方へ無償で提供を行うことにより、制服のリサイクルを図る。

年度	令和4年度	令和3年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度
寄贈件数	47件	38件	33件	20件	26件

(2) 老人福祉事業

在宅の高齢者や一人暮らし老人等が、要介護状態にならないための生きがい活動支援をすることにより、安否の確認や高齢者の自立と生活の質の向上を目的に実施した。

① ふれあい訪問事業

年度	令和4年度	令和3年度	令和2年度	令和元年度
ボランティア	35名・1団体	35名・1団体	24名・1団体	19名・1団体
利用登録者	57名	64名	49名	36名
実施回数	52回	48回	36回	49回
年間訪問件数	2,657回	2,073回	1,372回	1,201回



## 利用者状況

区別	東区	中央区	北区	南区	西区	西浜区	合計
新規利用	2	3	3	1	2	0	11
利用終了	2	8	2	2	0	0	14
登録者	11	14	17	7	8	0	57

(令和4年3月末現在)

### ② 嘉手納町社会福祉協議会いきいきサロン（社協サロン）

制度や事業の狭間にあり、閉じこもりがちな高齢者の方々を対象に、新たな社会参加の場を提供し、仲間づくりの場、孤立感の解消、地域の見守り、閉じこもりの防止、介護予防、健康づくりを目的して実施する。

実施日：毎月第1月曜日（8回実施）※新型コロナウイルスの影響により中止あり。

	令和4年度	令和3年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度
延べ利用者数	28名	17名	41名	51名	51名
登録利用者数	9名	8名	8名	8名	6名
延べボランティア者数	32名	17名	47名	58名	91名

### (3) 母子・父子福祉事業

#### ① 嘉手納町母子寡婦福祉会・NPO運営支援

NPO法人嘉手納町母子寡婦福祉会が継続安定した運営が行えるよう、必要に応じた支援等を行う。

### 3. 社会福祉施設（福祉サービス事業者）支援協働機能

#### (1) 嘉手納町地域活動支援センターていんがーらの運営（受託事業）

障がい者の自立支援と社会参加を促進する目的で、町の受託事業として地域活動支援センターを運営した。

開設日：月曜日～金曜日 午前9時～午後4時

定員：35名

利用者：継続32名、退所4名、体験42名（延べ数）

場所：総合福祉センター1階

	令和4年度	令和3年度	令和2年度	令和元年度
開所日数	241日	229日	230日	244日
延利用者数	2,174人	1,675人	1,788人	2,257人

職員数：支援員3名、相談員1名

#### ① 基礎的事業

利用者が安心していただける居場所を提供し、生活リズムを整える。生産活動により就労への向上心、レクリエーション等自主的な活動及び地域住民や他団体との交流を図る。

また、利用者の買い物、食事、生活習慣等の日常生活に即した課題に対する個別的な支援や指導などをおこなう。

#### ② 強化事業

No	事業の種類	事業内容	件数
1	個別支援計画	利用者の意向、適正、障害の特性その他の事情を踏まえた計画を作成し、これに基づき利用者に対してサービスを提供するとともに、その効果について継続的な評価を実施する。	20
2	相談支援事業	障害のある方やそのご家族などから様々な相談に応じ、必要な情報の提供、助言、福祉サービスの利用支援、関係機関との連絡調整などを行うことで、その人らしく生活が送れるよう支援する。 ※相談員育休のため欠員、2月後半より代替職員	2

3	啓発活動	障害のある方に対する理解を深めるため、地域の祭りや行事等への参加を行う。 ・社協ふれあい訪問事業の袋詰め作業 44件 ・精神保健福祉普及運動の役場パネル展示 1件 ・障害者週間パネル展示 1件 ※新型コロナウイルス感染症拡大防止によるイベント出演や役場販売の自粛	46
---	------	---	----

#### 4. ボランティアセンター（ボランティア活動支援）

ボランティアセンターを中心としたボランティアの養成と育成、また活動推進を目的として下記の事業を実施した。

##### (1) 福祉教育の推進

###### ① 福祉教育協力校助成事業

指定校	コース	助成金
屋良小学校	ベーシックコース	30,000円

###### ② 福祉教育推進助成事業

指定校	助成金
ミッキー保育園	30,000円
第三まきら保育園 Kadena	30,000円
光の子幼児学園	30,000円
光の子幼児学園 第二嘉手納園	30,000円
第二保育所	30,000円
第三保育園	30,000円
屋良幼稚園	30,000円
計	210,000円

###### ③ いもっ子 WINTER SCHOOL（読谷村社協共催）

読谷村社協と共催での開催を予定していたが、参加者無しのための中止。

###### ④ ボランティアの集い講演会

期日	参加者	内容	会場
R5.2.3	34名	ボランティアの集い講演会 「命どう宝」やなえもんが見た現実！ 講師：やなえもん	かでな未来館

##### (2) 学校・一般団体・企業への体験学習・研修への支援

期日	参加者	内容	会場
R4.5.22	屋良小4学年	【屋良っ子夢スクール】 「聴覚障がいを持つ方とのコミュニケーションから知る！福祉のお仕事」	屋良小学校
R4.9.14	嘉手納小6学年	【総合学習：福祉講話】 「嘉手納町社会福祉協議会について」	嘉手納小学校
R4.9.29	嘉手納小4学年	福祉講話 「福祉（ふくし）について」	嘉手納小学校
R4.11.5	嘉手納小5学年	【夢スクール：福祉講話】 「福祉（ふくし）のお仕事」	嘉手納小学校
R5.2.28	嘉手納小4学年	福祉講話 「聴覚障がいについて知ろう！」	嘉手納小学校

##### (3) ボランティア支援事業

###### ① 声のお便りサービス（地域生活支援事業参照）

② ボランティア広報誌

ボランティアや関係機関に対して町内の様々なボランティアに関する情報を提供することによりボランティア活動を支援し、ボランティア活動の広がりを図る事を目的とする。

発行回数：3回

③ ボランティア保険への加入促進

ボランティアが安心して活動できるよう、ボランティア保険への加入促進と掛金を負担した。

年度	令和4年度	令和3年度	令和2年度	令和元年度
ボランティア活動保険	233名	268名	218名	222名
ボランティア行事用保険	5,756名	7,725名	6,525名	6,796名
送迎サービス補償	—	—	—	100名
福祉サービス総合補償	2,844名	108名	100名	96名

④ 中高生ボランティア事業（ふれあい訪問活動活動）

期日	参加者	訪問世帯数	内容
R4.12.27	嘉手納中学校 16名 ボランティア 9名	15世帯	ふれあい訪問事業×学生ボランティア 「Happyな正月を届けよう！」 高齢者宅へ訪問活動

(4) ボランティア団体助成事業

コロナウイルス感染症の影響により団体の活動が制限されたこともあり、団体と調整し助成金の支給は行っていない。

団体名	助成額
手話サークルかでな	0円
リーディングサービスあいあい	0円
手話サークルノビルの会	0円
計	0円

(5) ボランティア活動拠点整備

ボランティアセンター（利用回数 14回・利用延人数 58名）

ボランティア（個人・団体）登録及び斡旋

登録状況：ボランティア団体登録数 27団体（503名）

福祉教材等貸出：高齢者疑似体験セット 2回

### III. 福祉サービス利用支援部門

1. 地域福祉権利擁護事業（日常生活自立支援事業）

認知症高齢者や知的・精神障害者の方の福祉サービスの利用援助や金銭管理、印鑑・通帳などの書類の預かりを行う事業を実施。【実施主体は沖縄県社協】

◇生活支援員：1名（活動者数 1名）

◇利用者：3名

2. 生活福祉資金貸付事業

低所得者や障がい者または高齢者に対し、資金の貸付と必要な援助指導を行い、経済的自立と生活意欲の助長促進など安定した生活が送れるようにすることを目的とする。

令和2年3月より始まった特例貸付も令和4年9月で終了。令和5年1月より特例貸付の償還が開始されたことにより、償還免除や償還猶予、減額相談に対応してきた。

借受人からの生活相談など、関係機関やコミュニティソーシャルワーカーとの連携により行な

う。

年度	令和4年度	令和3年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度
相談件数	331	527	801	33	21
貸付件数 (内、特例貸付)	70 (69)	497 (493)	604 (604)	3 (1)	0
貸付金額(円) (内、特例貸付)	25,046,000 (25,000,000)	228,475,000 (225,780,000)	232,646,000 (232,646,000)	1,314,000 (200,000)	0

貸付内訳：福祉資金1件、特例貸付69件

○特例貸付件数内訳（令和4年度）

貸付種類	件数	金額(円)
緊急小口資金	36	7,150,000
総合支援資金（初回）	33	17,850,000
計	69	25,000,000

○特例貸付償還免除（令和4年6月～令和5年3月末）

	決定件数	金額(円)
非課税要件	352	127,353,670
生活保護・障害者手帳要件	15	6,050,000
計	367	133,403,670

○特例貸付償還猶予相談（令和4年12月～令和5年3月末）

申請数	内訳	
	緊急小口	総合初回
47 (42)	24 (22)	23 (20)

※（）内は、令和5年3月末時点での承認決定数

○特例貸付償還減額相談（令和4年10月～令和5年3月末）

申請数	内訳	
	緊急小口	総合初回
4	2	2

## IV. 在宅福祉サービス部門

### 1. 高齢者等食の自立支援事業（配食サービス・町受託事業）

日常生活に支障のある在宅高齢者に対し、給食サービスを通して食生活の改善と健康増進を図るとともに、安否確認など高齢者の自立と質の良い生活が送れるよう支援した

実施日：月曜日～土曜日 週6日(台風、元旦除く)

配達員：1日2名

調理：沖縄県高齢者協同組合 配彩ナビィー

料金：普通食 500円（内、個人負担250円）

特別食 550円（内、個人負担320円）

きざみ食 600円（内、個人負担370円）

	令和4年度	令和3年度	令和2年度	令和元年度
年間配食数	6,411食	7,425食	7,402食	6,502食
月平均	534食	618食	616食	541食

## 利用者状況（令和5年3月末現在）

区	東区	中央区	北区	南区	西区	西浜区	合計
登録者	19 (20)	20 (18)	17 (12)	11 (11)	7 (7)	14 (17)	88 (85)
利用者	13 (11)	13 (11)	13 (7)	9 (8)	2 (1)	9 (11)	59 (49)
休食者	6 (4)	4 (6)	3 (4)	1 (2)	4 (5)	3 (4)	21 (25)
入院者	0 (5)	3 (1)	1 (1)	1 (1)	1 (1)	2 (2)	8 (11)

## 2. 地域介護予防活動支援事業（ミニデイサービス・町受託事業）

各区を単位としてコミュニティセンターを拠点に在宅の高齢者や身体障害者などの要援護者に対し、健康で生きがいのある生活づくりができるよう、民生委員、自治会、ボランティア、関係機関の協力を得て実施。新型コロナの影響により令和2年度より活動がほとんど出来ていなかったが、令和4年度10月頃より徐々に活動を再開してきた。

・各別実施日数及び利用者延べ人数等

推進地区	開催日	利用延べ人数	協力員延べ人数	開催数
東区がんじゅう会	毎月第2水曜日・第4金曜日	70	91	6
中央区あしびな一会	毎月第2月曜日・第4月曜日	89	61	9
北区百の会	毎月第2木曜日・第4木曜日	44	52	5
南区かりゆし会	毎月第2火曜日・第4火曜日	54	57	6
西区ゆんたの会	毎月第3水曜日・第4水曜日	42	56	6
西浜区ことぶきの会	毎月第1火曜日・第3火曜日	52	66	7
計		351	383	39

## 3. 介護用品貸与事業

在宅療養者へ車イスの貸出しを行い、在宅介護支援と介護者の負担軽減を図った。

	令和4年度	令和3年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度
貸与件数	40	40	31件	37件	29件

## 4. 放課後等デイサービス事業所の運営（わくわくクラブあすなろ）

学校通学中の障がい児に対して、放課後や夏休み等の長期休暇中において、生活能力向上のための訓練等を継続的に提供することにより、学校教育と相まって障がい児の自立を促進するとともに、放課後等の居場所づくりを目的に実施する。

## 5. 児童発達支援事業所の運営（わくわくクラブあすなろ）

未就学児を対象とした事業であり、基礎的な生活習慣、小集団での過ごし、コミュニケーション能力の向上等を目指すために実施する。また、ことばの発達の遅れを持つ子どもを対象に言語訓練を実施する。

・わくわくクラブあすなろ実績内訳

事業名	職員	定員	登録児童 (前年度)	開所日数	利用実績 (前年度)
放課後等デイサービス事業	6名 (兼務)	8名	26名 (23名)	242日	延べ1883名 (1483名)
児童発達支援事業		2名	0名 (3名)		0名 (79名)

※ 登録内訳 令和4年度 登録人数 26名（嘉手納町 18名・読谷村 8名）